2019年7月19日　伊集院敦

米中摩擦と日本

1. 米中関係の現状

貿易戦争：　一時休戦後も見えぬ着地点、焦点の知財と産業補助金

ハイテク覇権：　あいまいな華為制裁緩和、国防権限法、5G、対中取引制限

安保問題：　南シナ海（航行の自由作戦）、台湾（香港、総統選と安保）

一帯一路VS自由で開かれたインド太平洋（FOIP）

グローバル競争ー北極海、海底、宇宙・サイバー空間

2. 日米関係の現状

トランプ・安倍の蜜月：「おもてなし・抱きつき外交」4～6月の連続会談

日米同盟の強化：　安保法制、防衛装備導入ーF35やイージスアショア

対イラン「有志連合」への協力打診

北朝鮮問題での協調：　日本人拉致問題、国連制裁、対話プロセス

日米貿易交渉：　日米物品貿易協定（TAG）、焦点の農産物、自動車

参院選（21日投開票）後、攻防本格化へ

中国問題めぐる調整：　日本政府、安倍首相の助言　⇔　米国の要求

3. 日中関係の現状

日中関係「正常化」：首脳往来が復活、首相年内訪中、習主席来春国賓訪問

保護主義反対・自由貿易：日中韓FTA、RCEPなどの地域経済協力を推進

新分野での協力：第３国市場（一帯一路）、知財・イノベーション

安保・領土問題：尖閣諸島、東シナ海共同開発、第５の政治文書？

4. 日本の役割とジレンマ

日米関係と日中関係の両立、Ｇ２対応、『新冷戦』の回避

貿易（TAG⇔日中韓FTA・RCEP）、ハイテク（取引規制強化⇔協力拡大）

「ルール重視」「自由な国際秩序」の旗、他地域との経済連携協定（EPA）

G20大阪会議の成果と限界「信頼ある自由なデータ流通」（DFFT）、WTO改革

5. 日本の対応

政府レベル）

日米、対中外交の強化、EUとの連携強化

アジア・地域戦略、環太平洋経済連携協定（TPP）拡大、FOIP「構想」

多国間・多角的交渉の推進、DFFT、WTO改革のフォローアップ

企業レベル）

対米、対中関係拡大に伴う新市場開発・ビジネスチャンスの発掘

リスクの再点検：情報収集と貿易・技術管理体制、企業版「ルール戦略」

世界戦略・体制の見直し、生産・開発拠点とサプライチェーンの再検討